

バロン・グローバル・  
フューチャー戦略ファンド

(資産成長型) / (予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

厳選投資で長期保有  
～設定来高値圏で推移～

平素よりバロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型） / （予想分配金提示型）」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。本資料では当ファンドの実質的な運用を担当するバロン・キャピタル・グループ（以下、バロン・キャピタル）からの情報を基に、運用状況等についてご報告申し上げます。

## 本資料のポイント

- 基準価額は設定来高値圏で推移 – P2
- 長期投資に徹する – P3
- ファンダメンタルズがリターンに反映し始めた – P4-6
- 累計の投資パフォーマンスは積立投資が優位に – P7

## 基準価額は設定来高値圏で推移

- 当ファンドの基準価額は2022年4月1日設定後、長らく10,000円を下回る水準で推移しました。**2022年は、世界的なインフレ高進を背景として、各国中銀がこれまでにないペースで利上げを進めた**こともあり、株式市場とりわけ当ファンドが主に投資するグロース株式等にとっては厳しい環境でした。
- しかし、**2023年に入り、金利の先高観が薄れたことや2022年終盤にチャットGPTが公開されたことで生成AIが脚光を浴びた**ことなどにより、大型ハイテク株を中心に株式市場は上昇、当ファンドの基準価額も上昇傾向となりました。
- **2024年9月、米連邦準備制度理事会（FRB）は4年半ぶりの利下げを発表**しました。利下げ方向に転換したことで、長期的に成長余地が大きく、将来の期待リターンが高い中小型グロース株は好環境が続くとみられます。
- 当ファンドは、**完全な予測が不可能な市場動向に左右されることなく、徹底したリサーチに基づいて企業の成長性を早期に見極め、長期投資を行っています。実際に2024年11月末現在の組入30銘柄のうち80%は設定月（2022年4月末）から保有**しています。このようなブレない運用を続けることで、足元の基準価額は設定来高値圏で推移しています。

### 基準価額および純資産総額の推移

（2022年4月1日（設定日）～2024年11月29日、日次）



<騰落率> (2024年11月29日現在) (%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
騰落率	9.0	22.1	21.4	35.6	41.1



<騰落率> (2024年11月29日現在) (%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
騰落率	8.8	21.8	21.1	34.8	36.9

(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。(資産成長型)は2024年11月29日現在において分配を行っておりません。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注3) 騰落率は、(資産成長型)が基準価額、(予想分配金提示型)が税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

## 長期投資に徹する

- バロン・キャピタルの投資アプローチは極めてシンプルです。設立以来掲げ続けているスローガン“**We invest in people**”（人に投資する）に則り、**投資対象企業のビジネスとそれを運営する人を徹底的に分析し、長期投資に値する企業を見極めます。**
- 短期的に変動する金融市場環境より企業本来の潜在的な成長性を重視していることなどから、**組入銘柄の変動は相対的に小さく**なっています。
- 実際に、基準価額が設定来安値圏で推移した2023年1月と、高値圏で推移した2024年11月のポートフォリオを比較しても上位保有銘柄は大きく変わっていません。2024年11月末の組入上位10銘柄は、組入比率こそ多少の違いはありますが、**全て過去最低の基準価額時に保有していた銘柄**です。
- 短期的にパフォーマンスの悪化がみられたとしても、**長期的には当ファンドの銘柄選択が奏功**したと考えます。

主な組入銘柄（2023年1月末現在） (%)

順位	銘柄名	組入比率
1	メルカドリブレ	6.2
2	エンダバ	6.0
3	ショッピファイ	5.1
4	H D F C 銀行	4.8
5	クーポン	4.7
6	スノーフレーク	4.4
7	エヌビディア	4.2
8	アマゾン・ドット・コム	4.0
9	データドッグ	3.7
10	A S M L ホールディング	3.5
14	テスラ	3.2
15	アルジェニクス	3.2
20	クラウドフレア	2.2
27	ウィックス・ドットコム	1.7

主な組入銘柄（2024年11月末現在） (%)

順位	銘柄名	組入比率
1	ショッピファイ	10.1
2	エヌビディア	8.5
3	メルカドリブレ	7.8
4	アマゾン・ドット・コム	6.6
5	クーポン	6.1
6	クラウドフレア	5.8
7	テスラ	4.7
8	アルジェニクス	4.6
9	データドッグ	4.1
10	ウィックス・ドットコム	3.5
11	スノーフレーク	3.5
13	H D F C 銀行	2.7
14	A S M L ホールディング	2.7
17	エンダバ	2.4

設定来高値圏（2024年11月末）の上位10銘柄は、設定来安値圏（2023年1月末）でも保有。

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注) ピンク色の網掛けは、2023年1月末、2024年11月末で重複する組入上位10銘柄。

(出所) バロン・キャピタルのデータを基に委託会社作成

## バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンドのポイント

### 1 高い成長性を秘めた企業へいち早く投資し長期保有を徹底

- ◆ 成長企業にいち早く投資するために新規上場時や未上場時からも投資
- ◆ 徹底した長期保有により発掘した企業の成長を最大限享受

### 2 世界中の魅力的な投資機会を追求

- ◆ 国・地域、業種などにこだわらず世界中から優れた投資機会を探求
- ◆ 最も成長期待の高い投資機会を見定めて投資

※上記は当ファンドが投資対象とする投資信託の保有銘柄であり、今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## ファンダメンタルズがリターンに反映し始めた

- ▶ 2024年（11月末まで）の（資産成長型）のパフォーマンスは、米国の大統領選の行方や金利動向など、株式市場の外部環境が不透明で方向感が乏しいなか世界株式を下回る期間が多くみられましたが、11月にトランプ氏が大統領選に勝利し、**主要各国の利下げの方向感が鮮明になるなど株式市場の外部環境が落ち着き、企業のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が重視される**ようになったとみられることなどから、11月末の基準価額は前年末比+31.8%と世界株式の+27.4%を上回りました。
- ▶ **2024年のパフォーマンスを力強く牽引している銘柄の多くは基準価額が10,000円を下回っていた2022年に大きなマイナスを記録した銘柄**です。株価が軟調に推移していた時期も、組入企業はそれぞれのビジネスを通じてファンダメンタルズを向上させてきました。その他の銘柄も総じてファンダメンタルズは良好とみており、今後のさらなるパフォーマンス向上が期待されます。

### （資産成長型）の基準価額の推移



### パフォーマンス寄与度

寄与度上位5銘柄（米ドルベース）

(2022年～2024年)

\* 2024年は1月～11月 (%)

	銘柄名	年間騰落率			2024年 平均組入比率	2024年 寄与度
		2022年	2023年	2024年		
1	エヌビデオ	-50.3	238.9	179.2	9.5	13.1
2	ショッピファイ	-74.8	124.4	48.4	7.8	4.1
3	クーポン	-49.9	10.1	56.6	6.0	3.2
4	メルカドリブレ	-37.2	85.7	26.3	9.2	3.1
5	アルジェニクス	8.2	0.4	62.1	4.1	2.6

寄与度下位5銘柄（米ドルベース）

\* 2024年は1月～11月 (%)

	銘柄名	騰落率			2024年 平均組入比率	2024年 寄与度
		2022年	2023年	2024年		
1	エンダバ	-54.4	1.8	-63.6	3.6	-5.4
2	リビアン・オートモーティブ	-82.2	27.3	-47.9	1.2	-1.5
3	スノーフレーク	-57.6	38.6	-12.2	3.8	-1.4
4	Afyra Ltd	-0.6	40.4	-26.0	1.7	-0.6
5	indie Semiconductor Inc	-51.4	39.1	-35.5	1.0	-0.5

(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。（資産成長型）は2024年11月29日現在において分配を行っておりません。（注2）世界株式はMSCI ACWI（配当込み、円ベース）。同インデックスは当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。（注3）平均組入比率は純資産総額に対する比率です。（注4）当ファンドの基準価額算出時の外貨建て資産の円換算には、基準価額算出日前日（休日の場合はその直近の最終取引日）の株価と、基準価額算出日の為替レートを使用しています。そのため、上記の世界株式についてはこの計算方法に沿って、基準価額算出日前日の指数値と基準価額算出日の為替レートから円換算値を算出しています。

（出所）バロン・キャピタル、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は当ファンドが投資対象とする投資信託の保有銘柄であり、今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

## ショッピファイ（カナダ）

- クラウドベースの商取引プラットフォームを提供。販売業者のブランドを紹介するのに役立つ各種プラットフォームを手掛ける。
- 170か国以上で展開し、2023年のGMV（総商品取扱高）前年比20%増の2,360億米ドル。
- 同社が提供する拡張性のあるプラットフォームは、あらゆる規模の小売業者が、オフライン、国際、B2Bを含む、エンドツーエンドの商取引を行うことを可能にしています。



## ウィックス・ドットコム（イスラエル）

- 小規模な企業がウェブサイトを構築・維持し、事業運営を支援するソフトウェアを提供。ウェブサイトの自作ソフトウェアのトップ企業。
- 同社の登録ユーザー数は2億人を超えています。大多数の企業がプロのウェブサイト開発サービスを利用していることから、同社がターゲットとする市場規模は極めて大きいとみられます。
- 同社は製品のイノベーション、データ主導の流通網、そしてそのブランド力によって、強力な競争優位性を備えていると考えています。1,500人以上の研究開発員に支えられた技術的優位性によって、市場初の機能や垂直型サービスの迅速な提供が可能となっています。また、「Do-It-For-Me」サービス（プロのデザイナーによる代行サービス）は、同社ビジネスの潜在市場規模を大きく拡張するものだと考えています。



(注) 株価は2016年12月末～2024年11月末、日次。EPSは2017年12月期～2027年12月期。2024年12月期以降のEPSはBloomberg予想。

(注2) 組入開始は、当ファンドと同一の運用戦略で運用される代表口座のポートフォリオの組入開始時期です。

(出所) バロン・キャピタル、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は当ファンドが投資対象とする投資信託の保有銘柄であり、今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

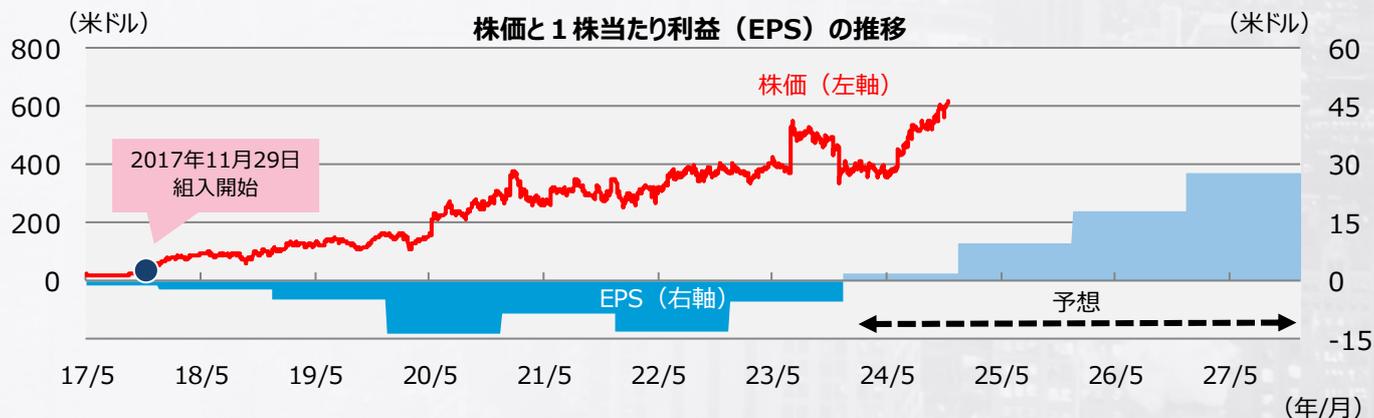
## メルカドリプレ (アルゼンチン)

- ▶ 中南米最大のeコマース企業。同社はメルカドリプレ・eコマース・マーケットプレイス、メルカドパゴ・フィンテック・プラットフォーム、およびメルカドエンビオスという、同社プラットフォームの販売者向け配送ソリューション一式を運営しています。
- ▶ 同社はeコマースとデジタル決済という2つの長期的なトレンドの台頭と、先行者メリットから大きな恩恵を受けていながら、競争優位性をさらに強めるべく物流に積極的な投資を行っています。
- ▶ 中南米は現金取引が主流の経済圏であるため、電子商取引の普及率は20%未満です。フィンテック分野における積極的なイノベーションと巨大な物流ネットワークを持つ同社は、中南米における今後のeコマースの成長とともに収益成長と利益率の拡大を成し遂げると考えています。



## アルジェニクス (オランダ)

- ▶ 動物のラマ特有の強力な免疫システムに基づき、自己免疫疾患の治療用抗体を開発するバイオテクノロジー企業。
- ▶ 同社が開発を進めている自己抗体免疫疾患剤「ウィフガード」(有効成分：エフガルチギモド)の売上増が期待されます。
- ▶ 「ウィフガード」は、稀な疾患である全身性重症筋無力症の治療薬ですが、抗体が関与する疾患の改善に幅広い適用可能性があり、多様な疾患への適用が期待されるという点で当該製品自体がプラットフォームとなる可能性を秘めています。これはバイオテクノロジー分野では稀なケースです。複数の自己抗体免疫疾患における製品の有効性が証明されれば、業績拡大が期待されます。



(注) メルカドリプレの株価は2016年12月末～2024年11月末、日次、アルジェニクスの株価は2017年5月18日(上場日)～2024年11月末、日次。EPSはいずれも2017年12月期～2027年12月期。2024年12月期以降のEPSはBloomberg予想。

(注2) 組入開始は、当ファンドと同一の運用戦略で運用される代表口座のポートフォリオの組入開始時期です。

(出所) バロン・キャピタル、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は当ファンドが投資対象とする投資信託の保有銘柄であり、今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 累計の投資パフォーマンスは積立投資が優位に

- 当ファンド設定時から（資産成長型）に積立投資した場合と、設定時に一括投資した場合をシミュレーションすると、**2024年11月1日時点で積立投資の評価額は+34.3%、一括投資は+26.7%**という結果になりました。
- 設定後、基準価額が10,000円（1万口当たり）を下回っていた期間が長かったこともあり、毎月一定額で投資を行う積立投資は、**基準価額が下落したタイミングで多くの口数を購入できたことがパフォーマンスの押し上げ要因**となりました。（310万円の投資で、積立投資は約328.4万口、一括投資は310万口を購入）。

### 積立投資と一括投資のパフォーマンス比較

（2022年4月1日（設定日）～2024年11月1日、月次）



### 毎月10万円ずつ投資した場合の評価額

（2022年4月1日（設定日）～2024年11月1日、月次）



### 設定日に310万円一括投資した場合の評価額

（2022年4月1日（設定日）～2024年11月1日、月次）



（注）上記は一定金額（毎月10万円）を Baron Global Future Strategy Fund (資産成長型) の基準価額（1万口当たり、信託報酬控除後）に毎月最初に投資すると仮定して計算したシミュレーションです。ただし最終月は投資しません。なお、購入時手数料等は考慮していません。

※上記は一定の前提条件に基づくシミュレーションであり、実際の投資成果ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託は元本が保証された商品ではなく、積立・換金のタイミングによっては収益が積立投資元本を割り込むことがあります。また、積立投資の成果が一括投資の成果を上回るとは限りません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

## ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにしております。

バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型） : (資産成長型)

バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（予想分配金提示型） : (予想分配金提示型)

1. 主として世界の取引所に上場している株式（預託証券（DR）や上場予定を含みます。）に投資を行います。

- 運用にあたっては、長期的に大きな成長が見込めると判断される企業に厳選して投資を行います。
- 特別買収目的会社や未上場企業の株式等へ投資を行う場合があります。

<未上場株式への投資について>

- 当ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券を通じ、その資産の一部を実質的に未上場企業の株式等（以下「未上場株式」といいます。）へ投資する場合があります。ただし、未上場株式への投資は、ファンドの純資産規模や、投資対象となる企業の資金調達の実施状況等に左右されるため、必ずしも未上場株式への投資を行うものではありません。
- 未上場株式は一般的に上場株式と比較して流動性が著しく劣るため、流動性リスクをはじめとする各種リスクの影響を大きく受ける可能性があります。
- 未上場株式への投資を行っている場合に、ファンドへの換金申込みが集中し、適切な未上場株式の組入比率を超過することとなった場合、換金申込みの受け付けを中止する場合があります。

2. 実質的な運用は、バロン・キャピタル・グループが行います。

- ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

※ 投資対象とする外国投資信託の運用は、BAMCOインクが行います。

3. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- 基準価額は為替変動の影響を受けます。

4. (資産成長型) と (予想分配金提示型) の2つのファンドからご選択いただけます。

(資産成長型)

- 原則として、毎年3月および9月の15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。

(予想分配金提示型)

- 原則として、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
- 各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の分配を目指します。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合、当ファンドの換金のお申込みの受け付けを中止することとなった場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

<ご留意いただきたい事項>

- 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。
- 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- 分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
- あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

### ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

### ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### その他の留意点

- 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- 当ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券を通じ、その資産の一部を実質的に未上場株式へ投資する場合があります。一般的に未上場企業は上場企業と比較し、事業リスクが大きく、また企業に関する情報の取得が困難であることが想定されます。さらに未上場株式は一般的に上場株式と比較して流動性が著しく劣ることから、売却時に不利な価格での取引を余儀なくされることなど流動性リスクをはじめとする各種リスクの影響を大きく受ける可能性があります。また、未上場株式への投資を行っている場合に、ファンドへの換金申込みが集中し、適切な未上場株式の組入比率を超過することとなった場合、換金申込みの受け付けを中止する場合があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

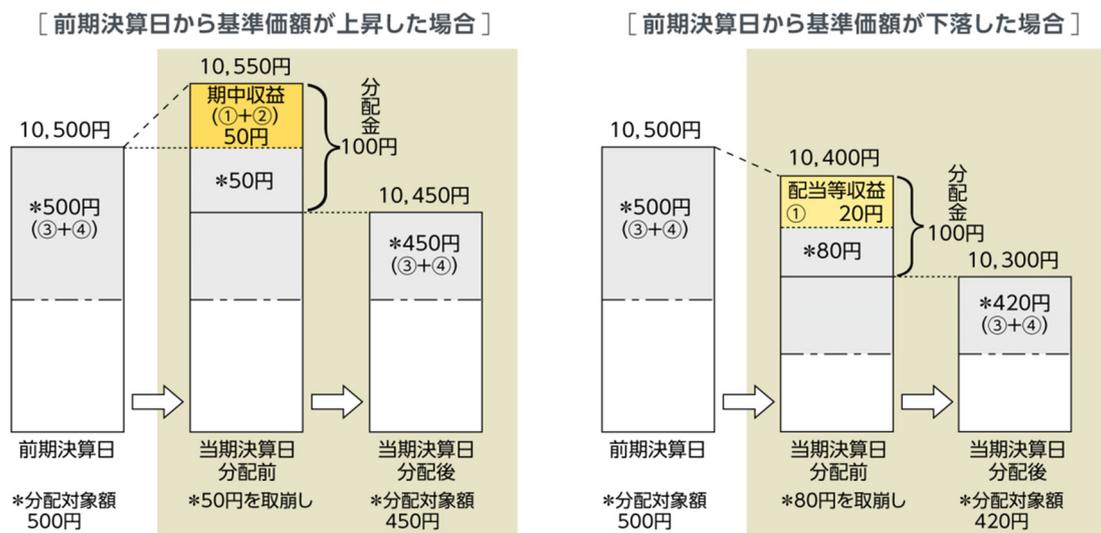
## 分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### (計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

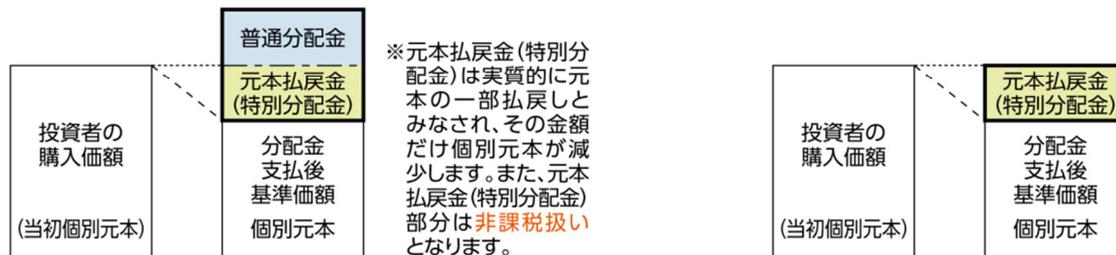


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### [ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合 ] [ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合 ]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

## お申込みメモ

### 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

### 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

### 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

### 信託期間

(資産成長型)

無期限 (2022年4月1日設定)

(予想分配金提示型)

2032年3月15日まで (2022年4月1日設定)

### 決算日

(資産成長型)

毎年3月、9月の15日 (休業日の場合は翌営業日)

(予想分配金提示型)

毎月15日 (休業日の場合は翌営業日)

### 収益分配

(資産成長型)

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

(予想分配金提示型)

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

(共通)

分配金支払いコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

### 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA (少額投資非課税制度) の適用対象となります。
- (資産成長型) は、NISAの「成長投資枠 (特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- (予想分配金提示型) は、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

### お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ロンドンの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

### スイッチング

販売会社によっては、(資産成長型) および (予想分配金提示型) の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に3.30% (税抜き3.00%)を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に年1.0945% (税抜き0.995%)の率を乗じた額です。  
※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、年1.9645% (税抜き1.865%)程度となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。  
上記の料率は、2024年3月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
  - その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
    - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
    - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
    - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合  
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。  
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

### 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ : <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a> コールセンター : 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		※1

備考欄について

※1：金融商品仲介業者経由のみでのお取り扱いとなります。

## ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

## 重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

作成基準日：2024年11月29日